

# 環境に係る情報協議会 国営緊急農地再編整備事業 雄武丘陵地区

## 1. 事業の概要（案）

### ◆事業の目的

地区内の農地は、大区画化されておらず、不整形、排水不良及び傾斜地のほ場が多く、また、離農跡地の継承により経営耕地が分散しているため、効率的な農作業ができない状況にある。また、一部農地では耕作放棄地が発生しており、今後も増加するおそれがある。

このため、本事業により、計画的な生産基盤の整備と併せ、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、さらに、担い手への農地の利用集積を進めることにより、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資することを目的とする。

◆受益面積 1,500ha

◆主要工事計画 区画整理 1,500ha

## 2. 雄武町の環境に対する考え方

### ◆農村環境の現状と課題

#### 《現 状》

- 本地域は、あざやかなコバルトブルーの海に臨む海岸線が35kmにも及んでいるほか、海岸から南西に伸びる台地には緑輝く牧草が一面に広がり、青い海と空、緑の大地に囲まれたオホーツク海沿岸独特の雄大で美しい自然が残されている。

（雄武町田園環境整備マスタープランより引用）

#### 《課 題》

- 本町の恵まれた自然の保全・継承をはじめ、自然との共生に配慮した持続可能な地球にやさしいまちづくりを進めていくことが必要であり、自然と調和した生産基盤整備を積極的に推し進めることが必要となっている。

（雄武町田園環境整備マスタープランより引用）

## 3. 環境配慮のための環境調査

### ◆環境保全の基本的考え方

#### 「うるおい・雄武 ～後世に残す恵まれた自然環境の保全」

豊かな自然を後世に引き継ぐことは、現代を生きる私たちの責務であり、住民と行政が協働で恵まれた自然環境づくりの保全を進めていくことが大切である。

地域の生態系の維持に向け、希少生物や在来種の調査・保護など、農地周辺の自然環境の保全に配慮する。

### ◆基本方針

- ・ 既往調査の位置及び結果を踏まえ、情報が不足している農地周辺の動植物の生息・生育状況を把握するため現地調査を実施する。
- ・ 工事実施中における水質への影響の有無を確認するため、工事実施前のデータ収集として、水質調査を実施する。

### ◆環境調査内容

- ・ 調査対象 哺乳類、鳥類、魚類、両生・は虫類、昆虫類、底生動物、植物、水質
- ・ 調査方法 哺乳類：目撃法、フィールドサイン法  
鳥類：ラインセンサス法、定点観察法  
魚類：採捕調査  
両生・は虫類：目撃法  
昆虫類：任意採集法、ベイトトラップ法、ライトトラップ法  
底生動物：定性採集調査  
植物：植物相調査  
水質：直接採水（SS、濁度）